NIE実践報告

1．タイトル：なつとあそぼう

2．学校名

愛媛県松山市立石井小学校

3．実践者名（代表者名）

宮内　裕子

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

生活　37人

6．単元（本時の学習課題）名

なつとあそぼう

7．目標（狙い）

新聞記事や写真から、季節の移り変わりを感じたり、人々の生活の変化や季節による違いに関心をもったりして、夏の遊びを楽しもうとする。

8．評価の視点

季節を感じることのできる新聞記事に興味をもち、進んで新聞から写真の切り抜きを集めようとしているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「なつとあそぼう」(教科書教材:東京書籍)　(10時間)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)自然や友達と触れ合いながら、夏を探す。(2時間)
(2)夏の自然を利用し、遊び方やルールなどを工夫して、夏の遊びを楽しむ。(4時間)
(3)友達や幼稚園児などと、夏の遊びを楽しむ。(3時間)
(4)楽しい夏休みの過ごし方を考える。(1時間)

(留意点)
・生活科「なつとあそぼう」の単元を学習する前に子どもたちに「夏」という季節を感じ取らせたり意識づけたりするために、教師が新聞記事や写真を提示する。その後、児童にも呼びかけ記事を集めさせたり、教室や廊下に掲示したりする。
・新聞を購読していない家庭もあるので、新聞だけでなく、インターネットで調べた記事やサービス紙(リビングまつやま、ウイークリィーえひめ)などもよいことにする。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「なつとあそぼう」の単元は、水を使っての遊びが中心となる。渇水に関する記事の内容を担任が児童に話すことで、夏の遊びをする時に、水を出しっぱなしにする児童は少なかったように思う。あらかじめ、おけに溜めた水を、利用して遊ぶ児童が多かった。

12．成果と課題

夏に収穫できる野菜や果物、夏に咲く花、地域での夏の行事などに興味をもち、児童からも、新聞から写真を切り抜いてくるようになってきた。ひらがなの読み書きが、やっとできるようになった段階であり、子供たちだけでの活動は難しいので、家庭での保護者の協力が不可欠である。